

○市長（染谷絹代） 本日御登壇をいただきました女性議会の6人の議員の皆様、本当にありがとうございました。そしてまた、傍聴に訪れていただきました大勢の市民の皆様方、本当にありがとうございました。今日まさに6人の女性の議員の皆様方は、それぞれの生活者の視点で率直な御意見をいただいたと思います。また、皆様方のお話を聞いていて、私自身が一番感じたことは、行政はさまざまな情報を発信しているつもりといたしますか、発信しています。しかし、それは市民の皆様お一人お一人に届いてこそ初めて情報の発信であります。コミュニケーションと同じで、相手にどう届いたかが全てであります。そうした意味では、もっともっと市のやっていること、取り組んでいること、そしてまた市民の皆様から課題だと思っていることをしっかりと受けとめられる、そういった市役所にしていかなければならないと思いました。情報の開示、そして政策の透明性を高めていくことは、私の市政の柱でありますので、ここはしっかりと今後も取り組んでまいりたいと思っております。もっともっと身近に感じていただける行政でありたいと思えますし、そうした市民の声が生かせる、それが10万人都市のよさだと思えます。30万人都市になったら、市民の顔は見えませんが、10万人都市だからこそできること、これは市民の皆様と行政の距離感であり、そしてまた一人一人の市民の皆様方が感じておられることを、直接吸い取ることでできる行政の規模であること、これらの特性を生かしながら、島田市の発展のためにこれからも頑張っていきたいと思っております。

私はいつも思うのですが、私ども行政の職員も含めて、市民一人一人がうちのまちはこんなにすばらしいところがあるのだ、こんなところがいいのだと自分の口で、自分の言葉で言えるようなまちになれば、これは訪れる方々にとっても大変魅力のあるまちだと思うのです。そうしたこのまち

の自信や誇りをつなげていくために、今、島田市緑茶化計画でありますとかさまざまな取り組みを推進しております。ぜひ今日の経験をこれからの皆様方の活動の場で生かしていただけますことを心よりお願いを申し上げます、私の講評とさせていただきます。

本日御登壇いただきまして、誠にありがとうございました。